

科目コード	41019	科目ナンバリング	MA30C02K	主な使用言語	日本語			
授業名(英文)	経営情報論 (Management Information)			担当者	米岡 英治			
基本情報	年次	3	単位数	2	授業形式	講義	AL要素	17 発問と回答
基本情報	曜時	水曜3限	関連資格		履修可能学科・専攻	E Pe Pc C W F N M		
授業の概要	<p>情報化社会になり社会環境が大きく速く変化している状況において、近年ますますデータの活用が重要になっていることを学ぶ。また、データ活用に対応する情報技術や企業の変革についても理解を深めると同時に、データ活用の基本となるITシステムの仕組みを理解する。</p> <p>企業の組織、業務、戦略はさまざまであり、このような情報システムを作ればよいというものはありません。しかし、現在の情報システムを見直し再構築する上での共通した考え方、注意すべき点などがあります。これらを学ぶとともに、企業経営における情報の活用について、意思決定、システム連携、マーケティング等における活用領域の広がり観点から学びます。</p> <p>また、情報活用における注意点、現代社会においてデータ活用に対する倫理観などについて学ぶ(セキュリティ、プライバシー、忘れられる権利、価値観の対立など)。</p>							
キーワード	経営情報システム、コミュニケーション、情報管理、企業間連携、ICT、情報倫理、情報公開							
学位授与方針との関係								
知識・技能	到達目標 (知識・技能)	①経営情報と経営戦略、組織論の関係について基本的な考え方、②組織構造、企業間関係、情報公開などの変化、③情報管理、情報倫理、情報資源活用の重要性について理解し、解答することができる。			評価方法 (知識・技能)	学期末筆記試験	評価割合 (知識・技能)	80%
思考力・判断力・表現力	到達目標 (思・判・表)	経営情報システムの今日的利用について、論理的かつ簡潔に自らの所見を表現することができる。			評価方法 (思・判・表)	学期末筆記試験およびリフレクションノート	評価割合 (思・判・表)	20%
学修に主体的に取り組む態度	授業中の質疑応答の内容から、「思考力・判断力・表現力」とあわせて評価する。また、自主的な学修によって自身の知見に追加された成果等が学期末試験やリフレクションノートの記述内容により認められる場合は、「思考力・判断力・表現力」の評価対象とすることがある。						評価割合 (学修態度)	0%
実践的ボランティア	直接的な評価対象とはしない。						評価割合 (ボランティア)	0%
公正性	直接的な評価対象とはしない。ただし授業中の発言等において人権侵害・差別的発言など著しく公正性を欠く言動があった場合は、減点や厳重注意の対象となるので注意すること。						評価割合 (公正性)	0%
その他	特になし						評価割合 (その他)	0%
授業計画	【第01回】 授業概要、データから情報へ、経営資源としての情報 【第02回】 組織の情報処理、経営戦略と情報							

	<p>【第03回】 経営情報システムの変遷</p> <p>【第04回】 企業における情報処理</p> <p>【第05回】 ビジネスプロセス革新</p> <p>【第06回】 情報処理技術の活用（1） 情報技術基盤・ネットワークとその活用</p> <p>【第07回】 情報処理技術の活用（2） 組織コミュニケーション</p> <p>【第08回】 インターネットビジネス戦略</p> <p>【第09回】 情報管理・活用（1） 情報化投資、組織体制、ITガバナンス</p> <p>【第10回】 情報管理・活用（2） 企業内情報共有・ナレッジマネジメント</p> <p>【第11回】 企業間連携（組織構造・組織間関係の変化）</p> <p>【第12回】 持たざる情報化</p> <p>【第13回】 情報化社会における課題（1） 企業活動</p> <p>【第14回】 情報化社会における課題（2） 情報通信技術、情報倫理</p> <p>【第15回】 情報公開（CSR-ESG,非財務情報開示）、全体振り返り</p> <p>定期試験</p>
使用テキスト	資料をそのつど配布します。
予習・復習のポイントと参考文献・資料等	<p>配布資料について復習するとともに、新聞・雑誌などで企業動向に注意しておくこと。</p> <p>参考文献として次のものを推薦する。</p> <p>宮川公男・上田豊編著, 2014 『経営情報システム』 第4版 中央経済社</p> <p>遠山 暁・村田 潔・岸 眞理子 (著) 2015 『経営情報論 新版補訂』 有斐閣</p> <p>遠山暁・村田潔・古賀広志 (2021) 『現代経営情報論』 有斐閣</p>
障がいのある履修者への対応	可能な限り対応するので、まずは学務部等に連絡すること。
授業時間外の連絡手段	オフィスアワーに研究室で対応する。曜日・時間等については講義時間に案内する。
留意事項	リフレクションノートに対するフィードバックを授業時間に口頭で行います。